

学生相談室だより

2008年2月号

新年を迎えたのがつい最近のような気もしますが、早いものでもう2月です。寒い日が続いていますが、みなさん風邪をひいたりしていませんか？ 後期試験も始まっていますので体調に気をつけてください。

さて今回は、交代に伴って新たに学生相談協力委員になられた、教育学部の安藤美華代先生をご紹介します。

教育学部の安藤美華代先生にお話を伺いました

1. 先生の自己紹介をお願いします。

教育学部の安藤美華代です。静岡市の出身です。専門は、臨床心理学、健康心理学です。中京大学同大学院で臨床心理学を学んだ後、公立の総合病院で臨床心理士として働いていました。その後、米国ジョンス・ホプキンス大学大学院で発達心理学、公衆衛生学を学びながら、米国国立衛生研究所（NIH、NICHD）予防研究部門で青少年の問題行動を予防するための研究をしていました。帰国後は東京学芸大学の博士課程で研究をしながら、総合病院で臨床心理士として働いていました。2007年4月から岡山大学に勤務しています。

2. 学生時代の思い出について聞かせてください。

米国ジョンス・ホプキンス大学大学院での学生生活は、思い出深いです。自ら課題を見つけてそれを解決していく問題解決型の研究スタイルを、フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーションなどを通して身につけ、「学問」を追求していくことの大切さや楽しさを実感することができました。中でも、ニューオリンズのジャクソンスクエアで行った子どもへのインタビューは、フィールドワークを行う勇気とおもしろさを得ることのできた貴重な体験になりました。

3. 学生時代の悩みと、その解決法は？

進路について悩みました。私が大学生だった時代は（今もそうかもしれませんが）、「臨床心理士」として職を得るのは、容易なことではありませんでした。それでも、臨床心理学を活かせる仕事につきたいと思いました。そのために、まず大学院に進学しました。大学院時代は、臨床心理学関係のボランティアをしたり、学術学会や学外の勉強会に参加したりしました。あるとき手伝いをさせていただいた学術学会のワークショップで、臨床心理士に肯定的な意見を

述べてくださった人に出会いました。これがきっかけとなり、病院で臨床心理士として勤務することになりました。

4. 岡大生の印象について。

真面目で純朴、向上心が高いと思います。来年度は、教養教育科目で「人間関係とコミュニケーション」という授業を開講します。様々な学部の学生と一緒に、授業を作り上げていくのを楽しみにしています。

5. 学生にメッセージをお願いします。

自分の心や体の声に耳を傾けて、我慢しすぎず、頑張りすぎず、自分を大切にしてください。自分や周囲の状況によって、うまくいかないこともあると思いますが、心穏やかに、好きなことをしたり、人とコミュニケーションをとったりしながら、プラス思考で考えてみましょう。日々の疲れは「積もれば山」となりますので、適度に休養を確保し、心身の充電をしましょう。つらいときは、どうか一人で悩まず相談室に声をかけてください。一緒に考えていきましょう。

安藤先生、ありがとうございました。

平成20年度のピアサポーター募集中！

学生相談室では平成20年度のピアサポーターを募集しています。ピアサポーターとは、悩んだり困ったりしている学生の手助けをする学生ボランティアのことです。

所属、学年は問いません。全学の全学年から募集していますので、どなたでも参加できます。

興味を持った方は学生相談室までお気軽にご連絡くださいね。活動内容などについて詳しくご説明します。

→[募集の詳細についてはこちら](#)

●ご案内(津島地区)●

受付場所:一般教育棟D新棟1階

受付時間:月～金 10:30～12:30 14:00～17:00

TEL:086-251-7169(受付) 086-251-7184(カウンセラー直通)

mail:nayami@cc.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

学生相談室だよりは岡山大学の公式ホームページでも閲覧することができます。

岡山大学公式HP→在学生の皆様→困ったときの相談窓口→学生相談室

URL <http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/soudan/index.html>

